

2012年12月25日

株式会社陽進堂
味の素製薬株式会社
味の素株式会社

株式会社陽進堂と味の素製薬株式会社による 戦略的提携に基づく合併会社設立に関する契約締結について

株式会社陽進堂（社長：下村健三、本社：富山県富山市、以下、㈱陽進堂）と味の素株式会社100%出資の子会社である味の素製薬株式会社（社長：豊田友康、本社：東京都中央区、以下、味の素製薬㈱）は、輸液・透析事業のさらなる発展と当該領域における治療への一層の貢献を目指して、味の素製薬㈱から輸液・透析事業を分割し、合併会社を設立することに合意、本日、契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 合併会社設立の背景及び目的

㈱陽進堂は原薬から最終製品までの一貫した研究開発・製造・販売体制を確立することにより、高品質なジェネリック医薬品を提供してきましたが、さらに事業領域を拡大し“無くてはならない製薬企業”への発展に向けた取り組みを強化しています。

味の素グループの医薬事業は、アミノ酸の医薬領域への活用からスタートした事業であり、2010年に味の素製薬㈱を設立し、消化器疾患領域を中心とした“スペシャリティファーマ”として事業の強化に取り組んできました。

このような中、味の素製薬㈱では従来より輸液・透析事業の構造改革の検討を行ってきましたが、今般、当該事業のさらなる発展を目指した協業の検討を、㈱陽進堂と味の素製薬㈱で重ねた結果、合併会社を設立し協同で、味の素製薬㈱の有する当該事業資産を、㈱陽進堂主体の効率的な事業運営により最大活用していくことが事業の発展及び両社の企業価値のさらなる向上に資するとの結論に達し、本契約の締結に至りました。

今後、㈱陽進堂はこれまでの事業領域に輸液・透析事業を加えることにより、医療現場のニーズにより一層応え、“無くてはならない製薬企業”に向けた取り組みを行っていきます。また、味の素製薬㈱は消化器疾患領域を中心とした“スペシャリティファーマ”への取り組みを一層強化していきます。また、両社は今回の提携を契機として、より広範なシナジーを追求することにより、両社の事業の発展を目指していきます。

2. 合併会社設立に関する契約内容

- (1) 契約締結日：2012年12月25日
- (2) 合併会社名：エイワイファーマ株式会社（仮称）
- (3) 設 立：2013年7月1日（予定）
- (4) 資 本 金：1億円
- (5) 資 本 構 成：㈱陽進堂 51%、味の素製薬㈱ 49%
- (6) 本社所在地：東京都中央区
- (7) 代 表 者：代表取締役社長 佐藤 文正（現 味の素製薬㈱専務取締役執行役員）
- (8) 取 締 役：4名（㈱陽進堂より2名、味の素製薬㈱より2名）
- (9) 要 員：約700名
- (10) 事 業 内 容：輸液・透析関連医薬品の製造販売。

尚、当該製品の国内における販売は㈱陽進堂が、海外における販売は味の素製薬㈱が行います。

3. 合併事業の基本戦略

下記、基本戦略に基づき経営を行うことにより、輸液・透析領域の治療に、より一層貢献するとともに、当該事業の収益の向上と安定的成長を図ります。

- (1) 味の素製薬(株)の事業資産を、(株)陽進堂主体の効率的な事業運営により、最大限活用するマネジメントの実施
 - (2) (株)陽進堂における協同した販売体制の構築による販売力強化
 - (3) 積極的な設備投資、開発投資による新製品の上市とシェアの拡大
- 以上により、両社の企業価値の更なる向上に邁進していきます。

参考資料

■(株)陽進堂の概況

代表者：代表取締役社長 下村 健三
所在地：富山県富山市婦中町萩島3697-8
設立：1962年（創業：1929年）
売上高：153億円（2011年度）
従業員数：約500名
事業内容：医薬品原料及び医療用医薬品の研究開発・製造・販売

■味の素製薬(株)の概況

代表者：代表取締役社長 豊田 友康
所在地：東京都中央区入船2-1-1
設立：2010年4月1日
売上高：779億円（2011年度 味の素(株)医薬事業連結ベース）
従業員数：約2,000名
事業内容：医薬品の研究開発・製造・販売、医療用食品の販売

本件に関するお問い合わせ



株式会社陽進堂
経営企画部

TEL：076-465-7777
FAX：076-465-7780



味の素製薬株式会社
経営企画部

TEL：03-6280-9802
FAX：03-6280-9912

味の素株式会社
広報部

TEL：03-5250-8180